

ちゅうじえん

# 中耳炎

## ? どんな病気なの？

肺炎球菌やインフルエンザ菌などの細菌に感染したことで、鼓膜の内側の中耳が炎症を起こす病気です。病原体を含んだ黄色い鼻水が、鼓膜の内側にある中耳と鼻の奥をつなぐ耳管に侵入し、発症します。「急性中耳炎」は5歳くらいまでの子どもに起きやすい病気で、耳に強い痛みが生じる点が特徴です。

発症の  
多くの原因は  
風邪



### 中耳炎の特徴

かかりやすい 時期	かかりやすい 年齢
通年	生後6カ月～5歳

## 航空性中耳炎

飛行機の上昇時や下降時の気圧の変化で、耳が痛くなることを「航空性中耳炎」といいます。風邪や鼻炎などの体調が悪いときに起こりやすく、乳幼児が機内で泣く原因の一つといわれています。症状が現れたら乳児は授乳、幼児は水分をとらせると症状が和らぎます。

具体的な症状 ▶▶

# 中耳炎

## ？ どんな症状がでるの？

中耳炎になると38度以上の熱が出ます。炎症が長引くと、中耳に膿が溜まって鼓膜を圧迫するので、強い痛みが起こります。この中耳に溜まった膿が、鼓膜を破って出てくることを「耳だれ」といいます。症状は発熱だけで、咳や鼻水などが出ないこともあります。

耳だれは  
耳の中に溜まった  
膿が出てくること



## 中耳炎にみられる症状

- ☐ 耳が痛い
- ☐ 耳が詰まっている感じがする
- ☐ 耳が聞こえにくい
- ☐ 耳だれが出る
- ☐ 機嫌が悪く、ぐずる
- ☐ しきりに耳を触り、  
頭を振る
- ☐ 38度くらいの熱が出る

インフルエンザや  
麻疹の  
合併症として発症も！



# 中耳炎

## ！ 治療法

中耳炎の治療は、症状と鼓膜の状態に合わせて行われます。症状が長引くと、中耳に液体が溜まる<sup>しんしゅつせい</sup>滲出性中耳炎を発症し、耳の聞こえが悪くなる場合もあるので、早めに耳鼻科を受診しましょう。

耳鏡を使って  
状態を確認します！



### 軽症

抗菌薬などは内服せず、自然に症状が治まるのを待ちます。

### 中等症

症状を改善するため、抗菌薬が処方されます。この抗菌薬の服用を治療途中で止めてしまうと、中耳炎が慢性化したり、滲出性中耳炎に進行してしまうことも。薬は最後まできちんと飲ませましょう。

### 重症

膿が溜まり、鼓膜の腫れや強い痛みがある場合は、専用の細いメスを用いて鼓膜に小さな穴を空ける「鼓膜切開」を行います。膿を出してしまえば、痛みもなくなり、熱も下がります。切開した鼓膜は炎症が治まると自然と再生するので心配いりません。

# 中耳炎

## 🏠 ホームケアのポイント

### 1 鼻吸い

ウイルスや細菌を含んだ鼻水が溜まると中耳炎になる確率が高まります。鼻がぐずぐずしてきたら、耳鼻科で鼻水吸引してもらったり、自宅で市販の鼻吸い器を使ってこまめに吸い取ってあげると予防につながります。

### 2 冷やす

中耳炎の痛みがつらそうなら、冷たいタオルや氷水を入れたビニール袋などを耳に当てると痛みが和らぎます。

応急処置は  
冷やす！



### 3 耳だれ

耳だれが出てきたら、耳の中までいじらず、外に出たものだけを拭き取ってください。鼓膜切開後に血性や膿性の耳だれが出ている間は入浴やプールは避け、患部を清潔にするように心がけましょう。

### 4 薬

点耳薬が処方されたら、横向きに寝かせて耳たぶを後ろ上方に引っ張り、耳の奥まで薬液が届くようにしてください。我慢できないほどの痛みが続くようであれば、病院で痛み止め（解熱鎮痛剤）を処方してもらいましょう。

耳の奥まで  
薬が入るように！

